10を つくって たそう③

2けた＋1けた（しきを 2つに して たす）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・れいの 37+8は、うしろの 8を 3と 5に わけて、2つの しきで たすよ。
・1つめの しきの □は、2けたの かずに たして 10の まとまり（37+3=40）に なる かず。
・2つめの しきは、1つめの こたえに のこりを たす（40+5）。
・はじめの □2つに 40を うつし、+の あとの □に のこり（5）を いれよう。
・こたえは『こたえ』の □2つに、十の くらいを ひだり、一の くらいを みぎに いれよう。

れい 37+8　こたえ 45

1つめの しき（10を つくる）　37 + 3 = 40

2つめの しき（のこりを たす）　40 + 5 = 45

① 49+5　こたえ □□

1つめの しき（10を つくる）　49 + □ = □□

2つめの しき（のこりを たす）　□□ + □ = □□

② 68+7　こたえ □□

1つめの しき（10を つくる）　68 + □ = □□

2つめの しき（のこりを たす）　□□ + □ = □□

③ 24+9　こたえ □□

1つめの しき（10を つくる）　24 + □ = □□

2つめの しき（のこりを たす）　□□ + □ = □□

④ 73+8　こたえ □□

1つめの しき（10を つくる）　73 + □ = □□

2つめの しき（のこりを たす）　□□ + □ = □□

⑤ 56+6　こたえ □□

1つめの しき（10を つくる）　56 + □ = □□

2つめの しき（のこりを たす）　□□ + □ = □□

10を つくって たそう③【こたえ】

2けた＋1けた（しきを 2つに して たす）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

おうちの方へ

1つめの しきで 10の まとまりを つくり、2つめの しきで のこりを たします。
2つめの しきの はじめの □2つには、1つめの こたえを うつします。

れい 37＋8 は、37＋3＝40、40＋5＝45 です。
こたえの 十の くらいを ひだり、一の くらいを みぎの □に かきます。

つまずいたら「37に あと いくつで 40？」と たずねましょう。
2つめの しきを 37＋5 と して しまう ときは、1つめの こたえに もどります。

① 49＋5　こたえ 5 4

1つめの しき（10を つくる）　2つめの しき（のこりを たす）

49 ＋ 1 ＝ 5 0　　5 0 ＋ 4 ＝ 5 4

② 68＋7　こたえ 7 5

1つめの しき（10を つくる）　2つめの しき（のこりを たす）

68 ＋ 2 ＝ 7 0　　7 0 ＋ 5 ＝ 7 5

③ 24＋9　こたえ 3 3

1つめの しき（10を つくる）　2つめの しき（のこりを たす）

24 ＋ 6 ＝ 3 0　　3 0 ＋ 3 ＝ 3 3

④ 73＋8　こたえ 8 1

1つめの しき（10を つくる）　2つめの しき（のこりを たす）

73 ＋ 7 ＝ 8 0　　8 0 ＋ 1 ＝ 8 1

⑤ 56＋6　こたえ 6 2

1つめの しき（10を つくる）　2つめの しき（のこりを たす）

56 ＋ 4 ＝ 6 0　　6 0 ＋ 2 ＝ 6 2